

令和3年度(2021年度)

管理事業名	地域・青少年教育事業			総合計画の体系	大綱 4 子育て・学び 政策 3 青少年がすこやかに育つまちづくり 施策 1 青少年の健全育成
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費 (目) 2 青少年教育費
部局名	地域教育部	予算執行所属	まなびの支援課・青少年室		
予算大事業名 一般事務事業 地域・青少年教育事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費(項)社会教育費(目)社会教育総務費 一般事務事業 (款)教育費(項)社会教育費(目)社会教育総務費 地域・青少年教育事業				
<b>事業の目的と概要</b> <b>【目的】</b> 青少年を対象に、地域での見守りや指導を行うとともに、青少年の仲間づくりや主体的な活動を支援し、豊かな人間性や社会性を育みます。 <b>【概要】</b> 不登校やひきこもりなどの課題を抱える青少年を対象に、自然体験活動を通じて生きる力を育むキャンプを実施します。青少年に関する課題等をテーマに講座等を開催し、地域の指導者や育成者の養成を進めます。青少年を対象として、地域ボランティアの協力を得ながら、さまざまな体験・活動の機会を提供します。各小学校区で組織されている見まもり隊にキャンプや腕章などの消耗品を支給して、通学路の安全確保のための見まもり活動を支援します。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
さわやか元気キャンプ参加者数	人	15	4	35	さわやか元気キャンプ(夏・冬)参加者数
青少年指導者講習会参加者数	人	254	0	61	青少年指導者講習会の参加者数 (令和元年度実績値に誤りがあったため、206回→254回に修正しています)
消耗品支給小学校区数	校区	34	34	32	子ども110番見まもり活動に係る消耗品を支援した小学校区数
成果の説明	不登校などの課題を抱える青少年を対象とした「さわやか元気キャンプ」を年2回開催し、参加者数は増加傾向にあります。地域の指導者等を対象とした「青少年指導者講習会」については、年1回のみ開催となりましたが、オンライン配信で実施し、指導者の育成支援に取り組みました。 「成人祭」は、市立吹田サッカースタジアムを会場として、検温や手指消毒などの感染防止対策を徹底し、開催しました。各地区青少年対策委員会に対し、土曜日の学校開放や様々な体験活動の実施のため、補助金を交付しましたが、感染拡大により中止となる行事も多く、その余剰金は市へ返納しました。 7月、11月には人数制限や時間短縮などの対策を講じ、警察や青少年関係団体が連携して「全市一斉合同パトロール」を実施しました。32小学校区の見守り隊にキャンプや腕章などの消耗品を支給しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	150	150
府支出金(経常費用充当)	-	-	469	469
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	65	58	77	19
経常収入 小計(a)	65	58	696	638
給与関係費	109,620	111,572	119,163	7,591
物件費	19,612	9,748	11,118	1,370
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	12	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	16,192	8,061	7,750	△311
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	7,790	7,724	7,331	△393
退職手当引当金繰入額	△17,341	1,616	9,754	8,138
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	135,884	138,720	155,115	16,395
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△135,819	△138,662	△154,419	△15,757
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△135,819	△138,662	△154,419	△15,757
一般財源充当額	161,667	143,830	151,122	7,293
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	25,847	5,167	△3,297	△8,465

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	成人祭事業使用料及び賃借料 3,350千円
負担金・補助金・交付金等	青少年対策委員会事業補助金 6,949千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	65	58	696	638
行政サービス活動支出	161,732	143,888	151,818	7,931
行政サービス活動収支差額	△161,667	△143,830	△151,122	△7,293
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△161,667	△143,830	△151,122	△7,293
一般財源充当額	161,667	143,830	151,122	7,293
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 健全教育のための体験活動推進事業費補助金 150千円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
青少年1人あたりのコスト	令和元年度	110,596 人	1,229 円	青少年1人あたり 1,391円のコストがかかっています。(対象:0~29歳) 経常費用の増加により、前年に比べて146円増加しました。
	令和2年度	111,422 人	1,245 円	
	令和3年度	111,485 人	1,391 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	7,724	7,331	△393
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	7,724	7,331	△393
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動負債	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	0	0	-	固定負債	68,223	71,913	3,690
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	0	0	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	68,223	71,913	3,690
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	75,947	79,244	3,297
土地	-	-	-	純資産	△74,017	△77,314	△3,297
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	1,800	1,800	-	純資産の部合計	△74,017	△77,314	△3,297
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	130	130	-	負債及び純資産の部合計	1,930	1,930	-
出資金	130	130	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,930	1,930	-				

Ⅲ 財務構造分析

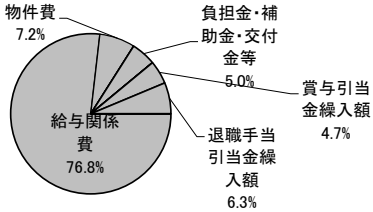
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事日数	年間従事日数	
	12.4人	1,667日	1,790日	
給与関係費等	106,869千円	20,273千円	9,106千円	136,248
内、時間外勤務手当	1,847千円			

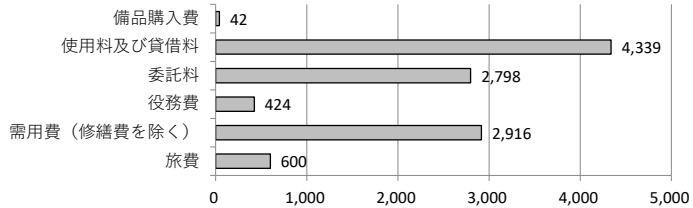
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
重要物品	絵画1点

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	『愛の鐘』自動放送装置
取得年月日	昭和60年(1985年)12月1日
建物・工作物の取得価額	1,800千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,800千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	差 B-A
			A	B	
施設維持補修費比率		-	-	-	-
施設老朽化比率		100.0	100.0	100.0	0.0
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	99.5	△0.5
経常費用対公共資産比率		7549.1	7706.7	8617.5	910.8

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【行政コスト計算書】

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費119,163千円(76.8%)、物件費11,118千円(7.2%)、負担金・補助金・交付金等7,750千円(5.0%)となっています。

物件費の内訳は、主に使用料及び賃借料4,339千円です。

負担金・補助金・交付金等のうち、6,949千円が青少年対策委員会が実施する地区青少年健全育成事業への補助金です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け縮小・中止した事業もありますが、引き続き事業ニーズを把握しながら地域の青少年関係団体と連携し、青少年の健全育成に取り組みます。  
 青少年指導者講習会については、オンライン開催も含め、講座内容・開催日等について吟味し、楽しく参加でき、魅力ある講習会の実施を目指します。  
 さわやか元気キャンプについては、不登校児童・生徒は増加傾向にあり、一人でも多くの児童生徒に参加の機会を提供できるよう、また一人ひとりの状況に合わせて選択できるように、令和4年度から開催回数を年2回から4回に増やし、日帰りで2泊2日・2泊3日と参加のハードルを下げ、関係機関と連携しながらきめ細かな支援に取り組みます。  
 見まもり活動に係る消耗品を各小学校区18,000円以内で支給することにより、活動の継続と充実を支援することで、子供の安全確保に寄与する事業であり、今後も継続すべき事業です。